

子どもたちからの「えっ!」、大人の「おお!」「えっ!」

202509

1. ストーリーの流れを理解する子どもの力

『七匹の子ヤギ』



使用しているテキスト(ENGLISH IN ACTION, TEXTBOOK 2, ぼーぐなん pp. 1-7)の

I am a baby goat.

Are you a baby goat?

Yes, I am.

I am Mother Goat.

You are the Wolf.

Yes, I am the Wolf.

He is a hunter.

という場面のやり取りを聞いてから、それぞれの役を決めました。子どもたちは初め「Wolf・オオカミがいい」と言っていたのですが、hunterと聞くと、「やっぱり hunter がいい!」と hunter に人気が移りました。それぞれに画用紙に自分の役の顔を描き、色を塗っていました。もちろん hunter の顔の横には鉄砲を描いていました。また、子ヤギの顔を描く際に、2 年生は、タブレット端末で「ヘイ、シリ、子ヤギの写真を出して。」と呼びかけて、検索していました。

さて、それぞれの登場者の絵を描いた後、

(Knock, knock!)

Let me come in!

Who are you?

Are you Mother?

Yes, I am.

Open the door!

Quick!

Open the door!

No!

No!

No, no!

Your hands are brown.

Your legs are brown.

You are not my mother.

You are a wolf.

You have a big tail.

Go away, wolf!

Go away, wolf!

の場面を聞かせると、ストーリーに沿って、順番に台詞を表情豊かに言えていました。上手い！この台詞読みから、子どもたちはストーリーの流れを、きちんと掴んでいることがわかりました。すごい！意味や状況が伝わってくる表情豊かな音声からは、日本語を介在させないで理解できることが多いので、ストーリー理解には大切ですね！？

＊出だしの (Knock, knock!) は、子どもたちはオオカミ役ではないにもかかわらず、机をノックしたがりました。

2. 音声と文字

you は音声で聞き慣れ言い慣れしていても、文字にするには大きなギャップがあるようで、首を傾げている子どもたちが案外多かったです。見慣れてもいるはずでしたが、教師が言いながら板書することが重要だと気づかされた瞬間でした。